

MISS 6月号 第16巻第9号 2004年9月1日発行
1989年4月2日 第3種郵便物認可

お待たせ!
エルメスの新作特集

【世界からピックアップ!】
今どきのカッコいい男性
最高のエグゼ73

9

September 2004

[ミス] MISS

入荷数&発売日付き!

憧れブランド
靴&バッグの
完売予報

使えるトレンド・トピックス

75

お嬢さんから淑女に!
レディな秋支度

ギリシャのオルガ女王
来日独占インタビュー!

プリンセス
という「お仕事」

MISSモデル未希が行く
「女優リゾート」の聖地、
サントロペを訪ねて

昼も夜も
淑女のデニム

「着やせツイード」で
スタイル美人

「ひざ丈タイト」
おしゃれ攻略法

次世代セレブ時計
「ベダ」を知って
いますか?

マジックドレス、
JKに続く
新物語の始まり

FOXLEYから
美人スカート&
ヒール誕生!

愛されてるから「普通顔」
私がヒロイン!
純愛メイク

新しい
バーキン&
ケリー
を徹底取材!

All About
New
HERMÈS

新しい
エルメスに夢中!

“モダンプリンセス”の個性的なキャリアを徹底レポート ✦ *Princesses in Their Jobs* ✦

プリンセスという お仕事

誰もが憧れるプリンセスだって、ただ華やかで優雅な毎日を送っているわけではありません。実は、プリンセスという立場だからこそ夢中になれるお仕事があったのです。

Photos:Jun Aoki Hair & Make-up:Maki Komori
Text:Midori Inagaki Editor:Misa Yamaji (MISS)
Special Thanks to Satoko Yahata,
Four Seasons Hotel Tokyo at Marunouchi

Princess Olga オルガ王女

1971年、アテネ生まれ。コンスタンティン国王の親族にあたるギリシャのプリンセス。'92年プリンストン大学卒(B.A.)。'98年ロンドンピア大学建築学修士号(M.A.)取得。未婚。未婚のままアレクサンドラ王女がいます。

ギリシャのオルガ王女に
インタビュー

プリンセスの仕事は “想い”を伝えるということ

生活のために働く必要のないプリンセスにとって、仕事の意味って何なのでしょう？
“プリンセスオルガコレクション”と、ともに来日したオルガ王女に、お話を伺いました。

スイートルームのドアの向こうで「はじめまして」とチャイミングな笑顔で迎えてくれたのは、今回来日したギリシャのオルガ王女。その人でした。プリンセスの来日理由は、自らがイメージキャラクターとなったプリザーブドフラワー「VITARO ROSA」プリンセスオルガコレクションをお披露目するため。身の回りのことはきちんと自分で、同コレクションのプロデューサーと一日中東京を駆け回るフラットワークの軽さは、プリンセスとはいえず、まるで現代の「キャリアウーマン」。そのものという印象です。

「私は自然環境にとっても興味があるの。このオルガコレクションを広めていきたいという理由は、もっとみんなに自然の豊かき、美しさを身近に感じてもらいたいなと思った



ビッグフェイスの
シンプル美が
王女の心を魅了

「気に入ったらそればかり身につける」という王女の胸には、日付け表示のないシンプルなフェイスが魅力だそう。仲良しのお友達から王女へのプレゼントです。

からなのです。だって、生き生きとしたバラが部屋の中にあつたら、自然がいっぱいのお庭にいるような気分になれるでしょう？」
自然が大好きという王女の瞳が、キラキラと輝きを増していきます。

「お花が部屋の中にあるだけで、お庭にいるような幸せな気分なの」

プリンセスの気品が漂う プリザーブドフラワー

王女をイメージした「VITARO ROSA」プリンセスオルガコレクション。シンプルな品のよさを大切にしているそう。作品は日本橋 高島屋で購入することができます。

おじいさまから譲り受けた アンティークなシャツ

「気に入っておじいさまのクロセツトから譲り受けたの(笑)」というシャツも、オルガ王女のワードローブのひとつ。フローチはヴィクトリア時代のアンティークもの。



パリやNYで育ち、雑誌「ヴァニティ・フェア」でベストドレッサーに選ばれたのは、ファッションにも精通している王女。アメリカで建築学を専攻し、コロンビア大学建築学修士号を取得するなどかなりの勉強家でもあります。そんな王女が自然環境の大切さと偉大さに触れて、それをプリンセスとしてのライフワークとして実感したのは、約4年前。

「あるきっかけで、パナマのジャンタルの科学研究所で自然環境保護のプロジェクトに参加したの。そこで私は蝶や蛾のコレクターとして研究に取り組みました。最初は、この蛾

はどんな虫を食べるんだろう」ということから始まるんだけど、結局一つの生物を研究することになったの。自然のすべてを知ることなんです。そうやって研究を進めるうちに、自分も自然の生命体の一員なんだってことを体で感じるようになりました。自然を守ること、共存することはやっぱり人間の原点ね。今は、自然なしの生活なんて考えられないという状態です」

そして現在、王女は1年のうち数カ月をパナマのジャンタルで過ごし、自然環境を守ることを仕事としているのです。スミソニアン熱帯研究所

Princesses in Their Jobs



「自然を守ることが私のライフワークだと考えています」

王女にとって安らぎは家族と過ごす時間

いちばん幸せを感じる時は「愛する家族と過ごす時間」という王女、プリンセスであることよりも、今の家族に恵まれたことが何より自分にとって幸福なことだと微笑みました。

常に自然保護を意識しつつ、プリザーブドフラワーのプロモーター、自然環境保護実践者、蝶のコレクターなど数々の顔をもつ王女、プリンセスである彼女にとって、いったい「仕事」とは何かと訊ねると、「私は今を生きている。モダンプリンセス。仕事をするのはもちろん私にとって強制ではないけれど、今の時代はプリンセスだからこそ、何か社会の役に立つアクションを起こす

たちと協力し、パナマ沖の島にリキッド ジャングルラボという研究所を設立しました。また最近では、パナマのコイバ島を世界遺産に登録するようユネスコに働きかけるなど、その活動の幅はますます広がっています。

プリンセスは自然保護を仕事にしている

ものでもいいけれど、私の場合で言えば、それがたまたま自然環境に関することだったのです」王女が今のようにならなれた方ができるようになったのは、歴史学者でもあるお父様の影響が大きかったといえます。「父に幼いころからずっと「オルガはプリンセスとして、何か社会にお返しをしないとはいけないのだよ」と言い聞かされて育ちました。だから、生涯をかけて夢中になれることを見つけることができて幸せに思います。こんな私のことを、両親も誇りに思ってくれているはず」

実は、これまでできてきただけメディアへの露出を避けてきたという王女が、このようなインタビューに応じ始めたのは、ごく最近の話。「自分が正しいと思うこと、守っていききたいことがあっても、ただ内々

ないと分かったんです。だったら私にできることは何か……。考えてみると、それは「プリンセス」として人前に出て、自分が大切だと思うことを人々に訴え、伝えていくことだと思ったの。それが、幸運にもプリンセスとして生まれてきた私の役割のようにも思えますから」

インタビュー中も、例えば自分が水が飲みたければ自分でさうと動く、というふうに、とても気取った雰囲気を感じさせてくれた王女。同時に、いいものをいい、悪いものを悪いと自分の言葉ではっきり言える凛とした意志の強さも伝わってきました。それは、彼女の洋服や持ち物においても主張されています。

「私はいろんなブランドの洋服を自分なりにミックスしてしまおうのが大好き。大切なのは自分自身のスタイルをもつことね。最新のファッションも好きだけど、おもしろいままらもった古いシャツだって着ます。全部こちゃませなの私流なの」

王女にとってプリンセスに生まれてよかったことは、「どんな人にもオープンである。こゝろ、つまり、いつでもでもプリンセスとして多くの人に会える特権があるということだと話してくれました。その一方で難しいと感じることは、「自分の存在価値を証明すること」だそう。

「10年後のこゝろ。今は全くわからないし、あまり考えさせないね。恵まれた境遇に感謝しつつ、今を生きているのが楽しくてしょうがないから」



パナマのジャングルで蝶の採集
パナマのジャングルで蝶を採集しているところ。ルプタンが特別にジャングル用のブーツを作ってくれたとか。



ルプタンとプリンセスとも仲よし
15年余の親友でもあるクリスチャン・ルプタンの靴が大好きという王女。スニーカー以外は全部ルプタンの靴なのです。

王女のオンリーワンブランドはクリスチャン・ルプタンです
実はルプタンから贈られたオープントゥのサンダル。手前は、ルプタンが等身大のニュートンのためにデザインした靴を、王女にも作ってくれたと。



来日したプリンセスの素顔に迫ります！

来日中のプリンセスのスケジュール

- 11/23 VITAROSA社長、コレクションプロデューサーとランチミーティング
- 11/24 小嶋「MISS」のインタビューを受けた後、スイートルームにて撮影
- 11/25 都内のフラワーショップを視察後、江戸東京博物館を見学
- 11/26 宿泊中の都内某ホテル近辺人とホテルのバーにてカクテルを楽しむ
- 11/27 某有名建築家と表参道のレストランにて会食。日本食をたっぷり堪能して大満足

印象

● 明治神宮に現れていたアヤメが美しかった。それと青山のプラダへ行ったんだけど、建物の新鮮さにびっくりしてしまったわ。
● 特に銀座でいただいたお寿司は最高に美味しかったわ。日本以外でも食べたことはあったけど、あれが「リアル(本物の)寿司」なのね。
● 最近好きなのが英国の新しいブランド「Allegre Hicks」。デザイナーは私のお友達なの。プラダやヴァレンティノも好き。
● 自然を感じるモチーフのアクセサリーやブローチ。カラフルなポケットチーフをよく身につけます。個性的になれるから。
● 世界を旅行すること、探検が好きなの。日本は沖縄から東京まで船で1か月かけて旅行したわ。あとは写真撮ること。